



練馬区の人口が73万人を突破 ～豊かな自然と住環境で子育てファミリー層に人気～

3日、区の登録人口（住民基本台帳に登録された人口、外国人を含む）が730,377人となり、初めて73万人を突破しました。

区の人口は、都内では世田谷区に次いで2番目、全国でも20番目程度の規模の自治体です。

練馬区は、都心近くに立地し、交通アクセスも良く、東京の魅力を享受しながら、農地や公園など多彩なみどりに包まれた暮らしを楽しむことができます。緑被率は24%と23区で最も高く、その住環境の良さから民間調査で子育てしやすい街ナンバー1になるなど、ファミリー層にも人気の街です。日本の総人口が減り続ける中、人口は今後も増加を続けていく見込みです。

区では引き続き、みどりをさらに増やし、道路や公共交通など都市インフラを整備して、子どもからお年寄りまで、区民の皆様が心豊かに暮らせる魅力的なまちづくりを進めます。

区の可能性を最大限に花開かせ、豊かで美しいまちを創ってまいります。

【人口の推移】

区の人口は、昭和22年に板橋区から独立した当時は、約11万人でした。人口増加は、昭和30年代前半から40年代半ばにかけての高度経済成長期に著しく、毎年2～3万人の増加で推移しました。昭和53年から56年に、人口が減少した時期もありましたが、昭和61年には、光が丘地区等の開発に伴い約11,000人増加し、都内でも際立って大きい伸びを示しました。その後も今日まで通増し続け、平成20年には70万人を突破しました。平成25年に71万人に、平成28年に72万人に達しました。

【将来推計人口（出典「みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン」より）】

